

水道事業について

質問(井上泰弘議員)合併後の水道事業の実施状況について伺います。

答弁(水道部長)大田原市の水道料金算定の基礎となる北那須水道料金につきましては、平成十六年度から一立方メートル当たり百円二十四銭でありました。しかし、北那須水道を利用する那須塩原市とともに、平成十九年度に二市で値下げの要望活動を行いました。

この結果、平成二十年度に特例



小種島大橋からの遠景

で一立方メートル当たり八十七円六十七銭となり、黒羽地区の水道料金を大田原地区の料金に統一することができました。

さらに、平成二十一年度には、北那須水道用水供給事業に関する協定書の見直しに際し、料金改定が行われ、一立方メートル当たり八十一円七十一銭に改定されました。

北那須水道料金が引き下げられてきておりますが、本市の水道事業は依然として一般会計から

記念樹の森整備事業について

質問(前田万作議員)事業仕分けで白紙に戻した、記念樹の森整備事業の今後の方針について伺います。

答弁(市長)記念樹の森の整備事業につきましては、平成十六年より調査を開始し、平成二十一年度までに農業振興地域内の農用地除外や農地転用、基本計画策定、用地調査、基本設計策定、環境影響調査等の業務委託を実施し、並行して大規模開発事前協議、土地収用事業認定協議を行ってきました。

した。

市が単独で行う公園整備で開発面積が六十四ヘクタールと全国に類を見ない計画のために、県との事前協議の中で規模に見合った事業の必要性や本事業を行うことよって生ずる財政硬直化などの懸念が指摘されておりました。

そのような状況もあり、事業仕分けでは「景気低迷が長引く中、先行き不透明であり、市の財政状況も厳しくなるのは明らかであ

る」などの意見が付され、不要という評価を受けたところであります。

地域の皆様方が長く期待をして、もう少しと思ったところに一気に白紙という話でありますことから、大変失望する心情は十分に承知しております。

ただ、事業仕分けでの評価を踏まえ、内部で協議し、その結果について真摯に受けとめさせていただきます。一たんゼロベースに戻して、市の企画部門において、民間事業の活用を含めた産業振興に有効な手段、方法等を模索し検討してまいります。

の補助金に頼らざるを得ない状況であります。さらに老朽化した施設や管路の更新、水道統合事業の推進などに多額の費用を要することから、なお一層厳しい経営状況が見込まれます。

このようなことを受け、今年度は、理想的な水道施設の維持管理、運営のあり方を検討するため、資産管理算定業務委託を実施するとともに、平成二十三年度には料金算定基礎調査業務委託を計画しておりますので、現在進めております上水道十か年整備事業との整合性や財政状況を踏まえまして、今後の水道事業の料金体系について調査研究してまいりたいと考えております。



県が運営する北那須水道事務所(那須塩原市百村)